湘南わかばグループ健康ニュース No.226 2019年3・4月号

わかば

特定医療法人 社団若林会
湘南中央病院・湘南わかば苑・わかば訪問看護ステーション
若林会居宅介護支援事業所・藤沢市明治いきいきサポートセンター
（地域包括支援センター）
発行者／長田博昭　　編集責任者／呉　鐵仁
〒251－0056 藤沢市羽鳥1－3－43　Tel0466(36)8151　Fax0466(35)2886
URL http://www.swg.or.jp　E-mail wakaba@swg.or.jp

【理　念】
地域の人々とともに歩み
健康を守り良質な医療と介護を
提供します。

【基本方針】
いつでも受けられる医療と介護
地域に出る医療と介護
包括的な医療と介護
納得ずくの医療と介護

「ときのわすれもの」～住むまちの風景～

タイトル『尽日春を尋ねて春を見ず』

「尽日春を尋ねて春を見ず」は宋時代の戴益の詩。意訳すると「春を尋ねて西また東、わらじ切らして帰ってみれば、家では梅が花盛り」となるらしい。中原街道「用田の辻」付近に住む作者が、「わかば３・４月号」の表紙のために、春らしい風景を探して冬枯れの周囲を歩き回って見つけられず、疲れて帰った庭先で思い出した詩だそうです。
湘南中央病院から約８キロ北の用田、梅の先に見える丹沢山系はぐっと近くに見える感じがします。
（作者　内藤英敏／企画　宮原青子）

主な記事

医学 在宅診療科リニューアル …… 在宅診療科 福崎幸治（2）
ワンポイント・クリニック「ふじさわプラス・テン体操」ご存知ですか？
…… 明治いきいきサポートセンター所長 村松真佐子（3）
緩和ケア病棟見学会 …… 副看護部長兼緩和ケア病棟課長 内田敏江（4）
一代記 或る外科医の一代記「子供の頃④」 …… 理事長 長田博昭（5）
エッセイ「はやしことば」…… 宮原昭夫（6）
地域「藤沢といえば“小栗判官”」 …… 藤澤浮世絵館 細井守（7）
こえ 投書箱から …… 統括事務部長 伊藤稔（7）

在宅診療科リニューアル

在宅診療科　福﨑　幸治

在宅診療科は２０１９年１月より新メンバーで新たな門出を迎えました。医師が４名、看護師２名、医療事務１名の合計７名体制です。

メンバー紹介

主に担当する医師は福﨑です。内科から異動となりました。専門は呼吸器内科と緩和ケアです。月曜日の訪問診療は非常勤の町田医師が担当します。また、火曜日の午後は呉医師（外科）が、木曜日の午後は片町医師（緩和ケア科）が担当します。以上３名の常勤と１名の非常勤の合計４名の医師により在宅診療を行っています。

看護師は岡田と松尾の２名です。岡田はわかば訪問看護ステーションからの異動となりました。訪問看護の豊富な知識と経験を持って医師の訪問診療に同行します。在宅医療の仕組みの説明、面談なども主に岡田が担当します。松尾は緩和ケア病棟からの異動となりました。緩和ケアの知識と技術、ホスピスマインドが持ち味です。二人とも看護師として経験豊富でとても頼りになる存在ですし、子育てや介護など家庭人の視点でも様々なアドバイスができると思います。

医療事務は鳴海が担当しています。平日日中の電話受付やお会計の説明を行っています。複雑な在宅医療や介護制度の仕組みを分かりやすく説明します。

（後列右から）
福﨑Dr、呉Dr（副院長）
片町Dr（緩和ケア病棟）、町田Dr
（前列左から）
岡田看護師（課長）
松尾看護師、鳴海（事務）

当院の在宅診療科の特色

最近は藤沢市内も在宅診療を標榜する医療機関がだいぶ増えてきました。その中で、当院の在宅診療科の特色を挙げるとすれば、在宅緩和ケアを強みにしていることだと思います（当院は在宅緩和ケア充実診療所・病院加算を算定しています）。みなさん、在宅緩和ケアって何かご存知ですか？

２０１７年９・10月号のわかばでも記載しましたが、在宅緩和ケアとは、主に通院が困難となったがん末期の患者さんを対象に、自宅で（入居施設も含む）なるべく苦痛なく穏やかに過ごせるようお手伝いすることを指します。

痛みがある患者さんには適切に痛み止めを使い、胸やお腹に水が溜まって苦しんでいる方にはそれらを抜く治療を検討したりして、まずは体のつらい症状を和らげます。

また、体のつらさだけでなく、心のつらさにも向き合い、患者さんやご家族の言葉をじっくりと聴くことを心掛けます。看護師に自宅へ来てもらったり（訪問看護）、薬剤師にも来てもらった方が良さそうな状況（訪問薬剤管理指導）の時は、そのような方法があることをお伝えします。床に敷いた布団から立ち上がるのが大変になった方には、介護用ベッドを導入することを提案します（ケアマネジャーと相談）。少しでも経済的な負担を少なくできる制度があれば、その情報を提供します。

このように、院内外の様々な職種と連携して、自宅でも穏やかに過ごせるよう、お手伝いさせていただきます。

もちろん、当院の在宅診療科はがんの患者さんだけを診療している訳ではありません。認知症や脳梗塞後遺症、心不全や慢性呼吸不全、整形外科的疾患など、がん以外の病気で通院が難しい方も対象にしていますので、訪問診療を希望の方はお気軽に相談下さい。

緩和ケア外来

２０１９年２月からは月曜日の午後に緩和ケア外来（予約制）を開始しました。訪問

診療はまだ必要ない、入院もまだ希望しないという方で、通院で緩和ケアをご希望の方を対象にしています。病状の進行に伴い、通院が負担となってきたり、入院を希望された場合には、スムーズに在宅診療や入院へ繋ぐことができればと思います。

※抗がん剤治療中の方や放射線治療中の方は、治療を行っている医療機関で緩和ケアを受けるようお願いしています。

抱負

当院では、「地域医療には在宅診療が欠かせない」と考えていた今井医師（整形外科）が1989年より往診を行っていました。それが当院の在宅診療のはじまりです。当時はまだ在宅診療は黎明期で、介護保険制度もない時代でした。その後2000年に介護保険制度が施行され、2014年4月に緩和ケアを専門とする奥野医師を中心に在宅診療部門が設立されました。

新体制になってもこの在宅緩和ケアを強みとする伝統はしっかりと引き継いでいきたいと思います。また、当院には10年以上の実績を有する緩和ケア病棟もあります。在宅と病棟の両方の緩和ケアを備えた病院は藤沢市内では当院だけであり、神奈川県内でも数える程しかありません。地域の医療機関と役割分担してお互い助け合い、外来・在宅・病棟と十分に院内連携を図って、患者さんやご家族のニーズに沿った医療を提供していきたいと思います。

さらには、院外の訪問看護ステーションや薬局、介護事業所との連携強化も進め、地域の核となり、在宅診療のレベルアップを図っていきたいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いします。

在宅診療をうけていただくには

在宅診療を希望のされる方は現在の主治医と相談のうえ、当院の在宅診療科までお問い合わせください。

※看護師との面談を行いますので、診療情報提供書・血液検査結果・病状のわかる画像などのご準備をお願いいたします。

訪問の対象地区として、辻堂・明治・大庭・遠藤・石川地区および隣接する茅ヶ崎市の一部へ訪問いたします。それ以外はご相談下さい。

お問い合わせ先

電話：0466-36-8151（代表）
0466-35-2800（在宅診療科直通）
時間：8:45 ～ 16:30
月～金曜日（祝祭日、年末年始除く）

在宅診療担当医表

	月	火	水	木	金	土
午前	町田（非常勤）	福﨑	福﨑	福﨑	福﨑	呉（臨時のみ）
午後	町田（非常勤）	呉	福﨑	片町	福﨑	-

ワンポイント・クリニック

「ふじさわプラス・テン体操」ご存知ですか？

明治いきいきサポートセンター
所長　村松 真佐子

65歳以上の方が健康を損なう原因として、生活習慣病の発症や加齢に伴う衰弱、転倒・骨折、関節疾患、認知症など高齢期特有のトラブルがあります。ちょっとしたことで身体活動量・食欲・活動意欲等が低下し、心身機能が落ちて、生活機能全般が低下し、最終的には寝たきりで要介護状態になる恐れがあります。

こうした状態にならないようにするには、日ごろからの運動がとても大切です。

みなさま、「**ふじさわプラス・テン体操**※」はご存知でしょうか？

これは「ストレッチ運動」「有酸素運動」「筋力増強運動」「バランス運動」を10分間で行うものです。ストレッチ運動のポイントは、「い」き（息）を止めない、「い」きおい（勢い）をつけない、「い」たい（痛い）ところまでやらない、「い」しき（どこの筋肉を伸ばしているか意識）する、の4つの「い」です。10あるストレッチ運動のうち、今回はそのうちの二つを紹介します。左右20～30秒を目安にできるだけ毎日行いましょう！

※「ふじさわプラス・テン体操」
http://www.plusten.sfc.keio.ac.jp/

（ふくらはぎ）
足を前後に開き、前足の膝を曲げ、後足の膝を伸ばします。後足のかかとを床につけます。左右行います。

（腰ひねり）
両手を組んで前に伸ばし、横にひねります。左右行います。

以前入院されていた患者さんから「私は藤沢に何十年も住み続けてきましたが、このような病棟が湘南中央病院にあることを全く知らなかった。広報が足りないのではないですか？」というご意見がありました。

当院の緩和ケア病棟は新病院と同時オープンして14年目を迎えますが、地域密着型病院として、まだまだ努力が必要ということを再認識しました。このような患者さんからのご意見を何か形にしたい、当院の緩和ケア病棟をもっと知っていただきたいという思いから、昨年の12月8日に「緩和ケア病棟見学会」を開催しました。

今回の見学会は、誰もがふらっと立ち寄れる気軽さをコンセプトに時間内に自由に参加できるようにしました。

まず3階の会議室で病棟の風景を映像で見ながら、3～4名とスタッフ1名がひとつのグループとなり、コーヒー、紅茶を飲みながら和やかな雰囲気の中でお話しをしました。参加者の方からは「かかりつけの先生にどう伝えたらよいか・・・」「最期の最期に入院するところだと思っていました」「最近がんを身近に感じるようになり、知識を得たかった」等のご意見を伺うことができました。また在宅クリニック、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーションからも医師、看護師のご参加があり、有意義な情報交換の場となりました。

その後、エレベーターで7階へ移動し、11月に病棟リニューアル工事を終えたばかりの緩和ケア病棟を見学しました。当日はお天気も良く、江ノ島や大山の峰々がパノラマで一望でき、とても良いお披露目会になりました。

今回、50名ほどの方の参加がありました。その多くの方が緩和ケアのイメージは「終末期の患者さんが対象」でした。以前はそのように考えられていましたが、平成24年のがん対策基本法では「がんと診断された時からの緩和ケア」が掲げられています。また厚労省の調査では、2人に1人が生涯でがんになるといわれています。がんがとても身近に感じる時代となっています。

今後も地域のみなさまに対して、緩和ケア病棟の普及啓発に取り組みたいと考えています。

病室は床と壁紙も綺麗になりました

湘南中央病院
緩和ケア病棟

緩和ケア病棟は患者さんが抱える様々な苦痛を和らげ、ご家族も含めてその人らしい人生が送れるようサポートし最期まで生ききってもらう場所です。大変な状態になって入院するのではなく、痛みなどの症状緩和目的だけの入院でもかまいませんし、介護疲れをしたご家族の休息のために１週間程度の入院でもかまいません。緩和ケア病棟を固く考えず相談してもらえればと思います。

片町医師

緩和ケア病棟へご紹介いただいています

平成29年度は藤沢市民病院から147人の方がご相談にみえました。その他には、湘南藤沢徳洲会病院、湘南鎌倉総合病院、神奈川県立がんセンター、茅ヶ崎市立病院など、都内では国立がんセンターやがん研有明病院などと連携をしています。クリニックでは藤沢本町ファミリークリニックやドクターゴン鎌倉診療所からのご紹介もあります。

ビルの狭間から見える水平線・・・
毎日違った装いの丹沢、大山の峰々・・・
この風景がほっとできるひと時・・・

←当日お配りしたチラシです

「あったかい雰囲気」のファミリーキッチン

一代記

或る外科医の一代記　子供の頃④

理事長　長田 博昭

テレビジョンが世に登場したのは昭和28年頃であろうか。白黒で画面に雨が降っていたが、近所の者大勢がテレビのある御家へ覗きにお邪魔した。力道山のプロレスが大人気であった。一方、映画も全盛で、大阪は「ミナミ」と通称する市の南部のターミナル（難波＝「なんば」と読む）に沢山映画館があった。毎週末、両親と妹の4人で電車に乗って難波に出かけ、駅を出ると母と妹はメロドラマに、父と私は西部劇か戦争映画に向かい、帰り道で又落ち合って、夏ならアイスキャンデーを買って帰る決まりであった。父も母も大阪の人であり、戦前の大阪の繁栄を知っていたので、復興と感じていたかも知れないが、私には何もない焼け野が原から少しずつ豊かになって行くという感覚であった。

小学3、4年生の頃、バートランカスター主演のアメリカ映画「地上より永遠に」の新聞広告を見て、来る週末の目標にしたが、「ココよりトワに」と振り仮名があったのに違和感を覚えたものだ。全編男の美学と言う、この映画の粗筋は昔本紙に書いたことがあるので省略するとしよう。でも今もそのDVDは書架にあり、時々深夜などに酒を飲みながら独りコンピューターに映像を出して見入っている。モンゴメリー・クリフト演ずる訳アリ二等兵ラッパ手が、その日、部隊内の暴行で殺された兵士の為に深夜の練兵場で吹き上げるトランペットの下りになる。それを当直士官室でバートランカスター曹長が耳にし、ふと顔を挙げて、おおあれはアイツが死んだキャツの為を想う友情で吹いているのだな、と言う顔付きをする、男と男の語らずもがなの心の通い合い、ここに来ると又涙が溢れる・・・。

ラジオでは民放はまだ無く、NHKのみの時代、「20の扉」とか「頓知教室」等の番組があり、クイズの先駆けとユーモア学を楽しんだ訳だ。上方落語と本場大阪の漫才も子供心に本当に面白かった。今の東京で聞く吉本のお笑いは東京の影響を受け理屈っぽい。面白くないことこの上ない。笑いとはあんなものではないと憤ッている。

昭和20年代の流行歌は息が長かった。「波の一背の背に一、揺られぇて揺れぇてー、月の潮路の還りー船ー・・・」と言う歌い出しの田端義夫の「かえり船」は心に染みて今も覚えている。「父還る」の我が父も正にそのかえり船にのって還って来たのだと思うと、その胸中が察せられ、終わりまで歌う前に今も涙が出てしまう。後で聞いたが、父は大陸(北中国）からの船中、大阪も空襲で完全に焼かれた事を知り、家族はもう生きていないのだから帰る意味があるのかと自問していたそうである。

渡辺濱子の「モンテンルパの夜は更けて」も忘れられない。フィリピンのモンテンルパ軍事捕虜収容所に抑留された日本軍の下士官・兵が裁判の結果死刑を宣告された。それを聞き知った歌手の渡辺濱子は歌での慰問を思い立つ。そこで作曲家に一曲頼み、それを携えて米軍の連絡機でフィリピンに飛ぶ。収容所で彼女の歌を聴いた捕虜達は「これで心安らかに死ねる」と言ったと言う。その経緯を語る濱子の声を、夜のNHKの放送で布団の中で眠れぬままに聞いていた。まだ20代の若い兵士達が、戦時中の現地民に対する行為を責められ死刑に処せられた事実を知り、命令に依る行動を、個人の判断で拒否できただろうかと子供心に反芻したものである。歌詞の中にある「ツバメは今日も来たけれど、愛し我が子はいつ帰る」のくだりなどは、処刑された兵士の母の心情に思いを馳せなければ現代特に感興を呼ばないではあろう。

それから、戦後の新しい時代と言う感覚を思い出して忘れられないのが言うまでもなく「青い山脈」である。「古い上着よ、さようなら・・・」みんな貧しかった子供の頃でも、この歌を歌うと何だか心は膨らんだ。なのに以来70年、この邦の民は今また古い上着を持ち出して着ようとしている様だ。戦争に出かける事の出来る国と又なった今・・・

次号へつづく

病院ボランティア募集！

当院では、新病院開設時より「病院ボランティア」活動を行っており、患者さんと病院・職員そして地域との橋渡しの役割を担っていただいております。地域のみなさんのご応募をお待ちしております。（無報酬の活動となります）

① 緩和ケア病棟内の環境づくり等
月～土曜日　週1回程度
10：00～17：00の間

② 外来受診サポート等
月～土曜日　週1回程度
10：00～12：00の間

③ グリーンボランティア
（1階エントランス花壇、7階花壇の草花の整備）
月1～2回程度
※時間はお問い合わせください

④その他（演奏ボランティア・縫い物ボランティア）
※詳細はお問い合わせください

問合せ先　湘南中央病院　ボランティアコーディネーター　0466-35-1801（内線2700）担当：永澤

はやしことば

古市憲寿氏の歴史エッセイを読んでいたら、こんな余談が目に付きました。氏の幼い頃、喧嘩相手と「ばか、かば、ちんどんや、おまえのかあちゃん、でべそ」という「はやしことば」を浴びせ合ったと言うのです。……尤もこれを兄弟喧嘩に用いたというのですから、おまえのかあちゃんは自分のかあちゃんでもあるので、頭上に唾を吐くようなものですね。

ともあれ、私が大変懐かしく思ったのは、これは遙か八十年前のわが幼少時にも、聞き覚えのある名（迷？）文句だったからです。念のため終戦直後生まれの連れ合いにも訊いて見たら、彼女の幼少期にもこの文句は「生きて」いたとのことです。してみると、これは時代を超えて脈々と語り継がれてきた古典的（？）な「はやしことば」なのか？

そう言えば、この手のことばは、老いた私でも、未だに立ち所に幾つか口をついて出てきます。冒頭の文句に類するものとしては「でぶでぶ　ひゃっかんでぶ　でんしゃにひかれてぺっちゃんこ」というのもありましたっけ。これは専ら肥満児への攻撃に用いられましたが、度量衡が尺貫法からメートル法に代わって以来、どうも廃れたようですね。

例えば、子供時代によくやった遊びとして、誰かに声を掛け、相手が「え？」振り向くと、「えじゃない、じだよ」と応えます。「なに？」と聞き返すと「なにがなん○○、ぶたのくそ、ぶたがいなけりゃ、なん○○こまる」と囃す。相手がそれを予測して「知らないよ」と躱すと、「しらなきゃしんばし、ごーろごろ、おまえのとっちゃん、○○○ひき」と言い返す。相手がその手に乗るまいと沈黙で応えると、「だまってるのは、およめさん（おむこさん）でも、もらったの？」とやり込める。これは喧嘩というより、お巫山戯のからかいでしたが。

私がどうしてこの小文にこんなに伏せ字を使うか、というと、どうも子供の「はやしことば」には差別語めいたものが頻出するからです。「なん○○」は、戦前には、明らかに中国人への差別語でした。「○○○ひき」は単なる職業名だが、しかし嘗て私は或るエッセイの中に「井戸掘り人足じゃあるまいし」と書いて、たちまち抗議の投書を頂き、閉口したことがありますので、油断は出来ません。そういえば「ちんどんや」も職業名だが大丈夫かな？　冒頭の「でべそ」や「でぶ」も、もしかしたら差別語だろうか？　しかし、差別語について語るには、どうしても差別語を使わざるを得ない、というのが、この問題の厄介なところですね。

ところで、「えんがちょ、かぎかった」という「はやしことば」も、私どもの子供時代には、やたらに連発されたものです。当時は横浜市街でも路上にごく普通に犬の糞や牛の糞が落ちていて子供がそれをつい踏んづけたりすることも、よく起こりました。すると周囲でそれを目撃した仲間は、一斉にこの文句を唱えて囃し立てたものです。

道ばたには時には野良猫や鼠の死骸が転がっていたりしましたが、そんなものに触るのはおろか、そのすぐ傍を通ったというだけでも「えんがちょ」が移ったということにされて、仲間達は当人から距離を取り、この「はやしことば」を唱えながら、両手の人差し指をロックさせて「かぎをかう」ことで「えんがちょ」を防ぐのでした。

この「はやしことば」の厄介なところは、たとえば男の子が学校で大の方のトイレに入ったりしても、それに気付いた男の子達がこれを言って騒ぐことなのでした。それどころか、私がうっかり女の子と手などを繋いだりしようものなら、男の子達に、えんがちょ、と囃し立てられたのですから、今思うとなんという男女差別だったことか。

例えば、偶々誰かが如何にもお坊ちゃんめいたピーターパンカラーのシャツなどを着てきて、皆に口々にからかわれたりした時、当人が躍起になって「いや、これは洗濯物が……」などと弁解しようとした途端、「ぎっこんばっさい、きょうは、おみみの、ていきゅうび」と唱えて、一斉に両耳の横で手を振って見せるのです。これはまことに感じが悪くて、なかなか効果的でしたよ。

「浮世絵で識る藤沢」

第８回「藤沢といえば“小栗判官”」

藤沢市　藤澤浮世絵館　細井 守

小栗判官（おぐりはんがん）の物語は藤沢・遊行寺に所縁を持つ物語で、浮世絵で人気だった東海道五十三次シリーズでは、様々なかたちで「小栗判官照手姫物語」が画題とされています。

図1は役者絵と名所絵（五十三次）をミックスした「役者見立（みたて）東海道」と呼ばれるシリーズの“藤沢”。「役者絵の豊国」と言われた歌川国貞（三代豊国）の画で人気を呼びました。背景は歌川広重の名所絵（保永堂版東海道）を写しています。

図1 小栗判官

図2は広重、国貞、歌川国芳という、江戸後期の人気絵師が各宿に伝わる伝説等を図像化し、分担して描いた「東海道五十三対（つい）」シリーズ。藤沢の担当は国芳で、画は岩を持ち上げて病の回復を示す小栗判官。場所は熊野（和歌山県）。背後には那智の滝、小栗の右脇には、そこまで乗ってきたことを暗示する土車（土を運ぶための粗末な荷車）が描かれています。

図2 東海道五十三対藤沢

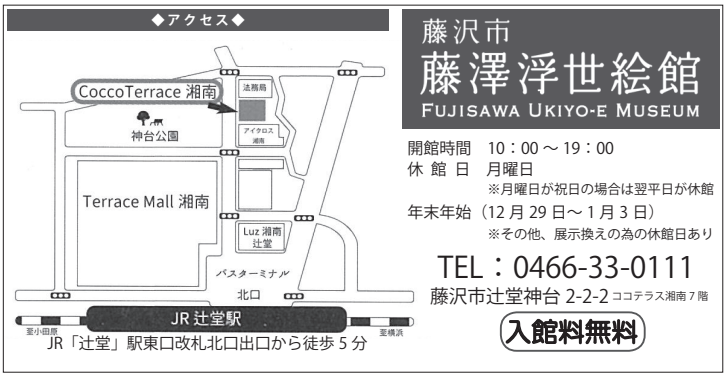
図3は広重と国貞が背景と人物を描き分けた「双筆（そうひつ）五十三次」シリーズの“藤沢”。街道で土車を引く女性が描かれています。この女性は、物語で小栗判官の相方となる照手姫で、描かれていなくても綱の先には半死（病身）の小栗判官がいることを想像させます。風景は南湖（茅ヶ崎市）の松原で、松並木の奥行きは熊野までの長い道のりを暗示させます。

図3 広重豊国双筆五十三次

図4は国貞（三代豊国）が描く「東海道五十三次藤沢照手姫・東海道五十三次平塚小栗」です。歌舞伎の話に因んで隣接する二宿場に役者を見立てた作品で、藤沢が照手姫、平塚が小栗判官となっています。小栗の物語は照手の物語でもあるので、こうした設定もアリなのでしょう。二人の装束は役柄のもの。照手姫は水仕（みずし、女郎屋の下働き）ということで髪を粗末な紐で結び、小栗は病身ということで紫色の鉢巻きをしています。

図4 藤沢照手 平塚小栗

藤澤浮世絵館では、２月23日～４月14日、展示会「小栗判官物語と遊行の縁（えにし）」を開催しています。



投書箱から

●患者さんよりご意見をいただきました。

今朝の朝食は格別に美味しかったです。特に卵焼き…そしてお茶も…。昨日○○先生に手術をしていただきました。朝８時頃、廊下で何気なくすれちがった際に先生から「頑張りましょう…」と一声かけていただきました。その一言がとっても心強かったです…。看護師の皆様にも大変お世話になりましてありがとうございました。皆様の優しさを沢山いただき、リハビリの先生にも優しく厳しくご指導いただきました。お部屋の掃除の方にも親切にしていただきました。たった今「昼間の看護師さんと交代させていただきます…」と昨夜の夜勤の男性がわざわざ挨拶して帰られました。皆様ほんとうにありがとうございました。

本日の昼食のおぜんに「ご退院おめでとうございます」の一言が、これも嬉しく美味しくいただきました。

というご意見です。

過分なお褒めのお言葉を賜りありがとうございます。スタッフの励みになります。引き続きこのような評価をいただけますよう努めて参ります。ご意見ありがとうございました。

統括事務部長　伊藤　稔

おしらせ

◆３月の外来診療担当表◆

2019.3.1 現在

専門外来

	午前・午後	月	火	水	木	金	土
内分泌（糖尿病）	午前 午後		酒井 (午前) 予約		酒井 (午前) (午後) 予約		酒井 (午前) 予約 (第 3.4)
呼吸器内科	午前	福﨑 予約					
肛門外科	午後	松﨑					
日帰り手術外来	午前						松﨑 予約 (第 1.3.5)
胸部 化学療法 外来	午前		長田 予約				
外科 呼吸器	午後					長田 予約	
乳腺甲状	午前			○			
皮膚科	午前			露木			
心療内科	午前				三吉 予約		
神経内科	午前 午後					松川 予約	
リハビリ科	午後	馬渕 予約					
リウマチ科	午前						永渕 (泰) 予約
緩和ケア科	午後	福﨑 予約		片町 予約		片町 予約	
禁煙外来	午後	小川 予約	小川 予約		小川 予約	小川 予約	小川 予約 (応相談)

一般外来

	午前・午後	月	火	水	木	金	土
内科	午前	村川 一般	岡田 一般 循環器	新城 一般	岡 一般 神経内科	新城 一般	岡 第1・3・5 新城 第2・4
		岡 一般 神経内科	岡 一般 神経内科	岡田 一般 循環器	永渕 一般	永渕 一般	永渕 第1・3・5 岡田 第2・4
		-	-	-	相澤 (予約)	相澤 (予約)	相澤 第2 (予約)
	午後	奥脇 (裕) 一般 消化器	永渕 一般	-	新城 一般	村川 一般	-
		岡田 一般 循環器	-	-	-	相澤 第1・3・4・5 (予約)	-
外科	午前	呉	池田 (清)	呉	長田	松﨑	松﨑 一般 第135は日帰り手術外来併科 (予約)
	午後	松﨑 一般 肛門	長田	-	呉	池田 (清)	
		-	-	-	-	長田 一般 呼吸器	-
整形外科	午前	池田 (全)	庭山	池田 (全)	芹ヶ野	中島	芹ヶ野
		今井	今井	山本	今井	滝澤	滝澤
	午後	芹ヶ野	庭山	-	池田 (全)	今井	-
		-	滝澤	-	-	-	-
泌尿器科	午前	多田	多田	多田	多田	多田	多田 (望月)
	午後	-	多田	-	-	-	-
夕方診療	午後	-	呉 4:30~7:00	-	-	-	-

外来診療受付時間　午前　8：30 ～ 11：30
※再診受付　午前 8：00 ～
午後　2：30 ～ 4：30

休　診　水曜午後、土曜午後、日曜日・祝日

※医師の都合等により休診・代診となる場合がありますので、事前にお問い合わせ下さい。

健康フェスティバル 2019 開催します

日時：2019 年 5 月 12 日（日曜日）
午前 9 時 30 分～午後 3 時まで
場所：湘南中央病院　前庭・１階フロア　他

◆各種測定（血圧・血管年齢・骨密度等）、各種相談、AED 体験、献血など・・・・
※詳細は、健康ニュース「わかば」5・6 月号に掲載します

『健康フェスティバル 2019』実行委員会（お問合せ先：0466-36-8151）

編／集／後／記

私事ではありますが、昨年12月に母が他界しました。90歳でしたので長生き出来たと思いますが、最近は90歳以上でもとても元気な方もいらっしゃるので、もう少し頑張れたのかも知れないなと思ったりします。

９月までは元気に過ごしていましたが、あることをきっかけに体調を崩して、地元の病院に入院することになりました。病院での急性期治療を終え退院可能な状態となりましたが、一人暮らしであったため自宅退院は難しい状態でした。自宅から程近い場所で、看護師がいて医療的処置も対応してもらえる施設に入所しましたが、本人はやはり自宅に帰りたいとずっと話していました。

今号では当院の在宅診療科のご紹介をさせていただきました。高齢の方は特に自宅への愛着が強いのかなと思います。一日でも長く、そして最後まで自分の家でというお手伝いが出来ればと思います。

（医師　小川　英幸）

湘南中央病院 今月のギャラリー（2019 年 3 ～ 4 月）

ボタニカルアートサークル「Blume 長久保」作品展

ボタニカルアートとは植物を観察し細部まで緻密に描く植物画で歴史は古く、古代エジプトや中国では薬草を見分ける図譜として使われ、ルネサンス期には建築や陶器の文様として植物画が描かれていました。

ボタニカルアートサークル「Blume 長久保」は長久保公園での講習会を経てサークルを立ち上げ会員数は現在 38 名です。

年２回の作品展（長久保公園・藤沢市民ギャラリー）を開催しています。

クレマチス

連絡先　Blume 長久保　代表　小野
0466-34-0915（FAX）